

## 子が語る戦中戦後の時代

12月10日(日)の「戦争を語り継ぐ会」では、「子が語る戦中戦後の時代」と題して緑町の今野強さんがお話します。語り部の今野さんを紹介します。

1943年2月東京板橋生まれ。夜空に炸裂する焼夷弾の閃光が脳裏に刻まれ、恐怖の中を母に背負われて防空壕に飛び込んだ記憶も。戦後の飢えのひもじさは思い出すさえ今でも辛い。進駐軍兵士を相手に身を売る家族を持つ子どもにチョコレートくれとねだり、くれないと「バカカバチンドン屋お前の母ちゃん〇〇ガール」と囁き立てて泣かせたことも度々。その残酷さに今でも胸を痛める75歳。

## 畑地から飛行場、そして文教地区へ

西坂戸 大山 茂

10月15日(日)の「戦跡めぐり」は、諸行事と雨天とで7名の参加でした。今回の資料「千代田周辺の土地の歴史の流れ、畑地、飛行場、そして若者の街」をもとに、プロローグを「一夜のうちに強制収用」、メインを「今でも残る飛行場の跡」、エピローグを「開拓民の運動で米軍基地化を阻止」としてお話ししました。

プロローグの中では、1940年(昭和15年)2月、陸軍少佐がやってきて、「陸軍の飛行場の建設に協力してほしい」と、一夜のうちに地主に印鑑を押させて強制収容した事実。そして、土地を奪われた地主たちが「一天狗」という地名のところに移住されたことが「鶴ヶ島町史」に掲載されていることを話しました。

また、何故この土地が選ばれたのかとして、関東ローム層の粘土質の土地は水田には向いていないが、畑地として整備されつつあったこと。広く平らな粘土質の土地は滑走路整備に適していたこと。陸軍の航空戦力増強の都合で、立川、所沢、入間、坂戸、熊谷、そして中島飛行機があった太田市までの南北一直線に飛行場が並べられ、坂戸はその中心的な位置であったことを地図でもって示しました。

メインの「今でも残る飛行場の跡」では、坂戸育ちならではの思い出として、巨大な格納庫が昭和30年代

まであり、先輩たちが石を投げて高いところのガラスを割る競争をしていたこと。坂戸中学校の敷地内にベトン(コンクリート)が残っていたこと。戦争中は電車に乗った憲兵が飛行場脇を通る際に遮光板を降ろさせていた話を聞いたこと。若い将校や学生のための「里親制度」があったことなどを語りました。

エピローグとしては、「米軍基地化」を阻止したこと。飛行場跡地に入植した開拓民による「米軍通信基地化」反対集会を報じた埼玉新聞の記事と、当時の観光協会が「飛行場跡を桜と緑の名所に」と植樹運動を起こした記事を紹介しました。広大な飛行場跡は、山村学園、筑波大付属高校、女子栄養大学などが並ぶ文教地区になり、若葉駅周辺一帯はさながら「若者の街」として活気づいています。坂戸飛行場跡を散策してみると、畑地から飛行場、そして「若者の街」への歴史の流れを刻んだ広大な土地です。米軍基地化を阻止したことをしっかりと語り継いでいくことが、憲法9条を守っていくことにつながっていくことでしょう。

かなりの雨でしたので、弾薬庫とベトンと陸軍の標石の3カ所をめぐるにとどめましたが、初めて参加した人にとっては新鮮な感動であったと思います。

## 戦跡めぐりに参加して

森戸 権平二幸子

8月の「戦争語り継ぐ会」、10月の「戦跡めぐり」と、続けて参加させていただきました。

今回の開催に、「総選挙の中どうなのか」という意見もあったとか。9月19日の新聞が「近く開かれる臨時国会にて衆院解散が濃厚になった」と報じ、28日召集された臨時国会の冒頭、安倍首相は所信表明演説をせず、代表質問も受けることなく解散を強行しました。

「九条の会さかどニュース89号」の発行はその日です。市や教育委員会の後援を得ている「戦跡めぐり」を選挙だからどうしようというのはどうなのか、今回の「教訓」として、みんなで考えてみては?

さて当日は、シトシトと降り続く雨の中、中央公民館には7名が集まり、市役所周辺に点在する戦跡の説明を大山さんが話してくださいました。

## 戦争を語り継ぐ 子や孫の時代へ

日時 12月10日(日曜日)13時30分から16時  
会場 坂戸駅前集会施設(2階)  
内容 戦後の飢えの記憶 今野 強さん  
9条への思いや話し合いなど

陸軍皇道派は、対ソ戦争の準備として、航空兵力増強と航空戦力幹部の大量養成のため、帝都市ヶ谷士官学校にも近い場所での整備を必要としたこと。

関東ローム層の粘土質の土地は、畑地として整備されつつあり、広く平らな土地は、滑走路整備に適していたこと。群馬県太田、埼玉県熊谷、坂戸、入間と直線につながり、その先に東京都、横田、立川と続き、坂戸はその中心的な位置であったこと。

大山さんの母校でもある坂戸中学校には弾薬庫が残っており倉庫として現在も使われていること、里親制度があり、大山さんの家でも士官学校の学生を日曜日や休日に受け入れていたと母親から聞いたことがあること。

また、当時は、電車で憲兵が乗り、飛行場の脇を通る際には遮光板が降ろされ、住民の目に触れさせないようにしていたこと。

ペトン(飛行機の駐機場)は当時のまま残され、現在は市役所の公用車駐車場として使われている等々。

私はここまでしか参加できませんでしたが、また「戦跡めぐり」があれば、ぜひ参加させてください。

今、坂戸の上空を既に何回かオスプレイが飛んでいます。今回渡された資料の地図を見ると、熊谷、坂戸、入間、立川と直線につながり、入間と立川の間に横田基地(福生市)があります。

40数年前、ベトナム戦争(1955年～1975年)があった頃に、横田基地には何回か行きました。基地ゲートを中心に参加者が左右に分かれ、手をつないで基地を包囲しようという集会です。

「飛び立てぬ100のジェット機、姿隠す戦争の手先」と歌いながら、参加した遠い思い出…。

あれから40数年、先日、アメリカのトランプ大統領が初来日し、乗った飛行機は、なんと横田基地に降り立ちました。

しみじみ思うのです。日本の青い空は一体誰のもの？ 今こそ、憲法9条を守ろう。無くすことは言うに及ばず、付け加えることも許さない。この声を大きく市民に知らせていかななくては…。さあ、がんばろう！

「青空を 爆音たてて オスプレイ  
見上げる空に 消えてゆく影」

## 【投稿】総選挙に思う

末広町 石川裕一

今回の選挙結果は、自民・公明両党で3分の2以上の議席を得ました。この内自民党が得た比例得票率は33%なのに、議席は61%を占めました。これは大政党に有利な民意を歪めた小選挙区制がもたらしたことは言うまでもありません。安倍首相は「国民の支持を受けた」と語っていますが、直後の支持率調査では支持すると支持しないは大差ありません。

そもそも今回の選挙は理由不明確な解散といい、公約も「北朝鮮問題＝国難発生」と若年層を意識した「子育て対策」という、取って付けたような内容でした。北朝鮮から今にでもミサイルが飛んでくるような脅かし

と「国民を守る責任」を訴え、消費税率引き上げは従来の社会保障充実ではなく「少子化対策にあてる」と大きく転換して票をさらった感があります。

深夜放送で20代のパパやママたちの座談会では「保育施設設置と充実」の切実さが語られ、安倍首相に期待する番組となっていました。

党首討論でのことです。北朝鮮の軍事挑発(ミサイル問題)について、「アメリカの軍事的対応一辺倒では大変危険であり、まず話し合いができるよう努力すべきだ」という意見に対し、安倍首相は「北朝鮮にはお金を貸しているが返してくれない。話し合いで解決しようと努力したが応じてくれない。だから話し合いなど無駄なことだ」と述べていました。借金返済と軍事挑発を同じレベルで考えている安倍首相は、アメリカの「紛争は全て力でねじ伏せる」方針を忠実に実施するつもりなのです。

また、ある番組で「若者たちは憲法改正を支持している」という調査結果が報告されました。どんな設問だったのかは不明ですが、大変気になることです。「国民を守ってくれる自衛隊」に期待しているのでしょうか。東北大震災時の救援活動や熊本や広島などの土砂災害の復旧作業を見て、頼もしく思うのは理解できます。しかし、軍隊としての任務は全然別のモノではないでしょうか。

かつて海外で文民警察官が銃撃を受けて死亡している実態もあります。

現在安保条約(地位協定)に基づいて沖縄を始め全国の自衛隊基地は米軍と共同使用となり、共同演習も頻繁に行なわれています。

自衛隊の装備・武器も、目的が「防衛」から「攻撃的な装備」に変わっています。

「国家安全秘密法」「安全保障局設置」「集団的自衛権行使」を閣議決定、「戦争法と共謀罪法」を強行採決、そして憲法改正、と同時に軍事費の膨張(史上初めて5兆円オーバー)は、日本がどこへ行こうとしているのか、余りにも明白ではないでしょうか。

「防衛大学卒業生の自衛隊入隊率が下がっている」という一方では、防衛省からの勧誘に応じて「高校生の自衛隊入隊体験」が増えているとも言われています。

戦争体験のない世代が8割を超え、「自衛隊を容認し9条に明記する」ことに賛同する若者たちは、日本の将来をどう考えているのでしょうか。

世論調査では「憲法改正」の賛否は五分五分です。日本会議も「改正」推進の「草の根運動」に力を入れて署名運動に必死に取り組んでいます。

九条をめぐる戦後最大の対決場、運動はまさに正念場を迎えています。

私たちもできることを精一杯取り組んで、改憲阻止・平和を守るために共に頑張りましょう。

## 今後の運営委員会(会員なら誰でも参加できます)

12月28日、1月25日、2月22日(第4木曜日10時～12時)  
会場は、北坂戸駅東口の坂戸市文化施設オルモ1階。